

手稲緑地通信

春の自然観察会を行いました

貴重な自生植物を守り育てる取り組みを行っている3つの公園で、春の自然観察会を開催しました。どの観察会もあいにくの雨模様でしたが、今年も植物が元気に咲く様子を観察できました。



富丘西公園
第18回自然観察会 5月31日(日)



星置緑地
第11回自然観察会 4月26日(日)



星置緑地では、ミズバショウやエゾノリュウキンカなど、色とりどりの春の植物観察を楽しみました。(写真上、左)



富丘西公園では、保全作業の成果を確認しながら、花盛りのスズランを観察しました。スズランの花数が年々増えてきているためか、今年は特に、スズランの香りを感ずることができました。(写真上、左)



稲穂ひだまり公園
第3回自然観察会 4月26日(日)

稲穂ひだまり公園では、見頃のカタクリやエゾエンゴサクなどの春の植物の観察を楽しみ、昨年タネを播いたカタクリの発芽も確認することができました。(写真左)

今年度の取り組み予定

富丘西公園

- 第19回自然観察会
7月26日(日)10時～
(ススキの高刈りと夏の植物観察)
- 大掃除会
10月末～11月中旬を予定
(保全区域の大掃除)
- <作業講習会>
7月16日(木)9月10日(木)10時～
(帰化植物の抜き取りなどの手入れ)

星置緑地

- 大掃除会
10月末～11月中旬を予定 (ササ刈りなど)
- <作業講習会>
7月9日(木)8月6日(木)9月3日(木)10時～
(帰化植物の抜き取りなどの手入れ)

稲穂ひだまり公園

- 大掃除会
10月末～11月中旬を予定 (ササ刈りなど)

富丘西公園のスズラン保全の取り組み

これまでの保全作業の継続により、スズランを圧迫していたススキなどの高茎草本が衰退し、帰化植物も抜き取りによって少なくなってきています。また、スズランも見違えるように元気を取り戻してきています。

作業講習会①

5月10日(日)参加者9名



スズランの保全のために、カモガヤの掘り取り作業を行いました



スズラン保全区域では、繁殖力の強い、牧草のカモガヤが増え、スズランを圧迫する恐れが出てきています。そこで、スズランを傷めない時期に、カモガヤを減らすための掘り取りを行いました。(写真左)

スズラン観察会

5月31日(日)参加者34名



北海道大学の近藤先生と大学院生の成田さんが、スズランの花数が増えてきていることや、タネを播くことで株を増やす方法があることを報告して下さいました。(写真上)



スズラン保全区域の観察の後、「手稲アウトドア・クラブ」の古川美枝子さんと、近藤先生、笠さんのガイドで、園内の春の植物観察を楽しみました。(写真上)

作業講習会②

6月19日(金)参加者18名



5月に抜ききれなかったカモガヤを抜き取りました。また、木道の周りに生えている、オオアワダチソウやフランスギクなどの帰化植物を抜き取りました。(写真左)

オオウバユリの保全作業も行いました



公園の西側に群生するオオウバユリを保全するために、オオイトドリを抜き取りを行いました。オオイトドリの地下の根茎は太いため、除去するのは大変な作業でしたが、今年開花するオオウバユリの株を救出できました。(写真左)

今年の保全作業のポイント (有)緑花計画 笠 康三郎さん



地域の皆様のご協力によるススキの高刈りなどの作業によって、以前よりもスズランの花が元気に咲く姿を楽しめるようになりました。一方で、増加しているカモガヤは、スズランの生育に影響が強いと考えられるため、今年から重点的に抜き取りの作業を行っていきます。また、これまでと同様に、ススキの高刈りや、帰化植物の抜き取りも行います。

観察会や大掃除会では大規模な作業になりますが、作業講習会ではきめ細かな作業を行っていただきますので、興味のある方はぜひご参加下さい。

星置緑地を守り育てる取り組み

保全作業により、ミズバショウを初めとする野生植物が少しずつ元気になってきているほか、周囲の道路からの見通しも大きく改善され、四季を通して快適かつ安全に利用される緑地になってきています。

春の清掃活動

4月9日(木)参加者11名



ミズバショウの見頃の時期を前に、恒例となった緑地周辺のゴミ拾いを行いました。(写真上)

作業講習会①

5月14日(木)参加者19名

みどりのサポーターが活躍しています



湿地内のクサヨシの抜き取りを行いました

クサヨシが急速に増加してミズバショウを隠したり、生育を圧迫する恐れも出てきたので、一部を抜き取りました。(写真左)

春の自然観察会

4月26日(日)参加者19名



観察会後の意見交換会では、「みどりのサポーター」の今年の作業内容を確認しました。(写真上)

作業講習会②

6月11日(木)参加者5名

木道周辺の草刈りを行いました



木道に覆い被さる植物は、一律に刈り取るのではなく、選択的な草刈りによって見どころを残すことができました。(写真左)

今年の保全作業のポイント (有)緑花計画 笠 康三郎さん



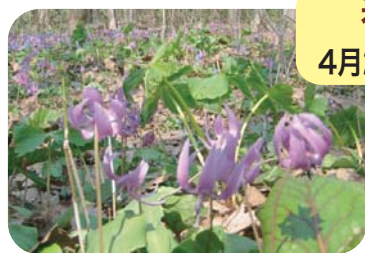
さらに快適で魅力あふれる緑地にしていくために、今年は、1ヶ月に1度程度、木道周辺を中心に、植物の生育状況にあわせた作業をこまめに行っていきます。毎回とても熱心に作業をしてくださる「みどりのサポーター」の皆さん、今後とも協力をよろしくお願いいたします。

稲穂ひだまり公園のカタクリ保全の取り組み

ササ刈りなどの作業の結果、全体にカタクリの花数が増えてきています。また、2年前より自然観察会を開催し、カタクリが地域の皆さんに広く知られて、親しまれるようになってきています。

春の自然観察会

4月26日(日)参加者10名



カタクリや春の植物を観察しながら、カタクリの花数が増えていることなどを確認しました。(写真左)



昨年播いたタネが発芽しました

カタクリの発芽の様子(写真左)

今年の保全作業のポイント (有)緑花計画 笠 康三郎さん



来年のカタクリの開花に向けて、秋には例年通りササ刈りと落ち葉や枯れ枝をかき集める作業を行いますので、地域の皆さんのご協力をお願いいたします。

手稲の公園や緑に関わる活動はほかにたくさんあります!

手稲区の自然や緑地に関する取り組みをご紹介します。

「星観(ほしみ)緑地」

◆手稲区手稲星置201◆

「星観緑地」は、手稲区の西側、小樽市との境界に位置しています。春から夏には桜や様々な植物が咲き、野鳥がさえずり、秋には星置川に遡上するサケの姿も見られます。また、起伏があるコースが人気のパークゴルフ場などもあり、自然を身近に感じながら楽しめる緑地です。



地域のボランティアの皆さんが、「タチアオイ」を育てています

緑地の南入口付近の花広場には、造成時に約1000本のタチアオイが植えられましたが、株が弱り、数も少なくなっていました。そこで、地域の皆さんと一緒に株を増やしていこうと、平成19年より「タチアオイの会」の取り組みが始まりました。周辺にお住まいの方を中心に97名が会に登録しています。

「タチアオイの会」では、秋にタネを採取し、ボランティアの皆さんが自宅で苗を育て、6月に苗植えと除草作業を行っています。今年の6月21日に開催した「苗植え会」では、丹誠込めて育てた苗を持ち寄って植え、緑地内に飾るハンギングバスケット作りも行いました。

年々タチアオイが増えていく姿を楽しみながら、今以上に見事な群落を目指して、取り組みを続けていきます。

「タチアオイの会」は、どなたでも気軽に参加することができます。一緒に苗を育ててくれるボランティアの方を募集していますので、興味のある方は、下記の連絡先までご連絡下さい。



■持ち寄った苗を植え、ハンギングバスケットを作った今年の「苗植え会」



■昨年の花広場でのタチアオイの開花



「星観緑地」と親しむ様々な行事を行っています

「星観緑地」では、四季を通じて様々な催しを行っています。

例えば、夏と秋に行っている「ほしみナイト」では、星空観望と天体のスライド上映をしています。近くに街の灯りが少ないため、札幌市内とは思えない空の広さと、美しい星空を体感でき、条件が良い時は天の川も見られるそうです。このほか、昨年は、ハンギングバスケット作りなどの「園芸教室」、犬のお散歩マナーを学ぶ「犬と人の楽しいマナー教室」、ペットボトルで作るキャンドルに灯りを灯す「雪の花あかり」などの催しを行いました。また、今年から、季節ごとの自然観察会も開催しています。



■今年の春の自然観察会(5月17日)

これらの催しについては、緑地内の管理事務所などに掲示するポスターや、ホームページ、下記連絡先にてご案内しています。

どなたでも参加できる行事ばかりですので、ぜひ参加されて、「星観緑地」に親しんでみてはいかがでしょうか。

■お問い合わせ先(ほしみパークプロジェクト)

公園管理事務所:TEL. 011-686-0680

ホームページ:<http://www.1chan.co.jp/hoshimi/>



■冬の緑地を彩る手作りのキャンドル

「手稲緑地通信」第5号では、富丘西公園、星置緑地、稲穂ひだまり公園で行っている植物保全の取り組みと、「星観緑地」の取り組みをご紹介します。今年の取り組み予定も記載しておりますので、興味のある方はぜひご参加下さい。

連絡先:手稲区土木センター公園緑化係(電話:011-681-4011)